

アジアの留学生と交流する会

<<埼玉にある小さなアジア>>

会員募集

2017/04/01

1987年に新座市のアパートでバングラデシュからの就学生が餓死するという痛ましい事件があり、それをきっかけに地元地域の主婦やサラリーマンが集まって1988年にこの会ができました。草の根の市民グループとして、主に東上線沿線に在住・在学する留学生を支援しながら、彼らと地域の方々との交流を推進するような企画を考え、実行してきました。今年で創立29年目を迎えました。

奨学金の贈呈

会の一番大きな活動です。毎年2~3名のアジアからの(私費)留学生に、毎月2万円を1年間贈呈します。資金は会員からの支援金、市民の方々からのご寄付、民間団体からの助成金、バザーの売上などです。2016年度までに75名の奨学生を支援しています。

料理会 (6月または7月)

これは留学生の皆さんと日本で暮らしている外国人の方々それに日本人がお国自慢の料理を一緒につくり、いただきます。毎年30名以上が参加、韓国、中国、ベトナム、タイ、ネパール料理や日本料理、多国籍(国籍不明)料理に大いに舌鼓を打ち、賑やかな一日を過ごします。



大バザー (9月または10月)

市民の方々から「不用品」をいただき、販売します。準備には社会人・留学生を合わせて30人以上が参加。毎年、品物を出してくださる方は100人、買い物の客さんは数百人を超えます。

収益が奨学金の原資になるほか、留学生に日本で暮らすうえで欠かせない日用品を安く提供する機会になっています。留学生は売り場で、レジで大活躍。日本で就職した元留学生も駆けつけてくれます。

買い物にいらした方に、アジアの若い方たちとの歓談も楽しんでいただいています。

新年会 (1月)

留学生・外国籍の市民の方たちと共に、日本のおせち料理を食べ、日本舞踊を鑑賞、各国の民族衣装を互いに着る「民族衣装を着てみまショウ」やゲームなどで正月を祝います。



ミニ講演会 (12月)

留学生が日本で経験したことや考えたことなどをテーマに話し、参加者と質疑応答します。

思いがけない質問に留学生が戸惑うこともありますが、和気あいあいとしたやりとりで、相互理解が深まっていくのが手に取るようにわかります。



キモノプロジェクト (2月または3月)



留学生 4~5 人に振袖を着ていただきます。故国にいたときから着たかった人、日本で成人式の姿を見て憧れた人。みんな、まず「ふるさとの父母に写真を送りたい」と。きっと日本留学の一生の思い出になるでしょう。

ホームページ (<http://asianogakusei.yu-yake.com>) の運営と **“通信”** の発行による情報発信。(ホームページは随時更新、“通信”は原則毎月発行)

その他...

イオン新座店の“黄色いレシートキャンペーン”への参加(毎月11日、写真)



会員の募集と支援金のお願い

- 常時会員募集集中。いつでもご入会いただけます。どうでしょうか、一緒に楽しみませんか?
- なお、私どもの会は主に会員(個人)からの会費・支援金と市民の皆様からのご寄付によって運営されています。今後とも奨学金の贈呈および交流の諸活動を安定して継続してゆくために、広く支援金・ご寄付を募っております。どうか、趣旨をご理解のうえご支援を賜りますよう、あわせてお願い申し上げます。

年会費:	日本人一般	3,000円
	外国籍社会人	1,000円
	留学生、日本人学生	500円

連絡・問い合わせ: ホームページ: <http://asianogakusei.yu-yake.com>
メール: asianogakusei@yahoo.co.jp

郵便口座: 「アジアの留学生と交流する会」
口座番号: 00100-1-20655
銀行口座: 埼玉りそな銀行新座支店 普通口座
(491) 4503505 (アジアの留学生・就学生と交流する会)